



年報

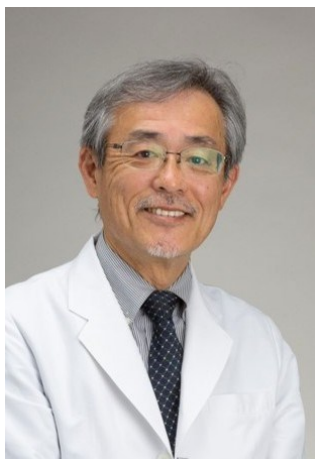
社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸^{さいわい}クリニック

2020

Vol.5 第2版





第二川崎幸クリニック 院長

関川 浩司

2020年 第二川崎幸クリニック標語

臨機応変

Professionalism

皆様には新型コロナウイルス禍でご苦労の日々をお過ごしになっていることとお察し申し上げます。さて、今年もまた当院の一年を振り返っての年報をお送りいたします。これまでは毎年初夏の発刊を旨として参りましたが、今回のコロナ禍に対する当院の取り組みについても第一波特集号として掲載するため、例年より遅らせての発刊となりました。

コロナ禍は世界中の人々が近年経験したことのない未曾有の出来事であり、今まで日常と思っていたことが非日常と化し、また周囲の風景も一変してしまいました。とりわけ医療界は最前線での戦いを余儀なくされ、これまでの医療も様変わりました。

当院も来院される患者さんやスタッフの安全を確保するため、館内でのマスク着用義務や手洗いの励行をはじめとした数々の行動規範を作り、また玄関口にトリアージブースを設置し体温測定や感染症に関する詳細な問診の聴取を行い、さらにはリモート診療や電話再診をはじめとするオンライン診療を導入しました。慢性期の方々には長期処方などの対応もしております。一部の患者さんでは不要不急の外出を避けるため来院を控える方もいらっしゃいました。また各学会からは不要不急の手術や内視鏡検査の自粛も求められました。このような現実、これまでの医療は不要不急であったのか、一医師として考えさせられる日々でもありました。

今後医療界もCOVID-19の影響にて変化を遂げていくことでしょう。しかしながら必要とされる医療は変わらぬものと強く信じております。当院の外科系消化器系総合専門外来、心臓病センター、脳血管センター、大動脈センター、下肢静脈瘤センターに代表される血管系総合専門外来として、さらには日帰り手術センター、化学療法センターなど、今後もより良い医療の提供を萎縮することなく継続して参りたいと思います。

2015年7月1日の開院以来丸5年が過ぎました。開院の日は雨でした。その日の朝礼では‘雨降って地固まる’とスタッフに述べていました。今、このコロナ禍の中‘大雨降って必ずや地はさらに固まる’そう信じて本年の標語‘臨機応変’‘professionalism’をしっかりと心に刻みながら‘Better than before’の思いをスタッフ一同強く持ち、前進して参ります。

今後ともご支援、ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

令和2年(2020年) 盛夏



あゆみ

2019年 4月	心臓病センター開設
5月	血管外科／下肢静脈瘤センター医師入職 泌尿器科医師入職
7月	消化器系総合診療科常勤医師入職
8月	幸キッズメディカルスクール開催 訪日外国人向け病院検索スマホアプリ「JHG:(Japan Hospital Guide)」に登録 1階と3階に監視カメラ設置 婦人科常勤医師入職
9月	減量外科／逆流性食道炎外科開設 第12回オープンギャラリー「川崎幸ロータリークラブ展」 川崎幸ロータリー移動例会を院内にて開催 漢方外来に不眠外来を併設 ミニシャトルバス増便
10月	第13回オープンギャラリー「川崎市立川崎高校 書道部展」を開催 毎週水曜朝礼にて「プラチナ塾」を開催 台風19号対策 災害時病院連携訓練に参加 第14回オープンギャラリー「先斗ポン太・浅見ハナ2人展」を開催 院内ボランティアによる「移動図書サービス」を開始 入院支援センター開設のための本格協議始まる
11月	緊急非常時に警察へ直接通報できる防犯装置を設置 国際化委員会、電子カルテ・文書管理委員会を設置
12月	Year End Party開催
2020年 1月	本年の標語 ‘臨機応変’ ‘Professionalism’ 職場体験として塚越中学校の生徒受け入れ
2月	かわさき幸 がんweek2020開催 COVID-19 対策始まる
6月	循環器総合診療科新設および同科常勤医師入職

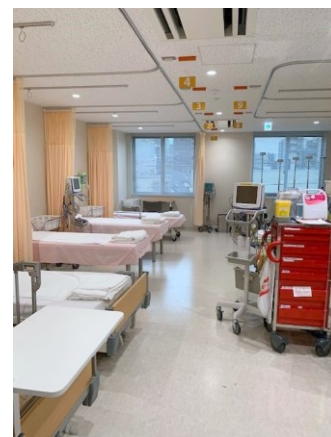




● 内視鏡検査とセデーション、リカバリー体制

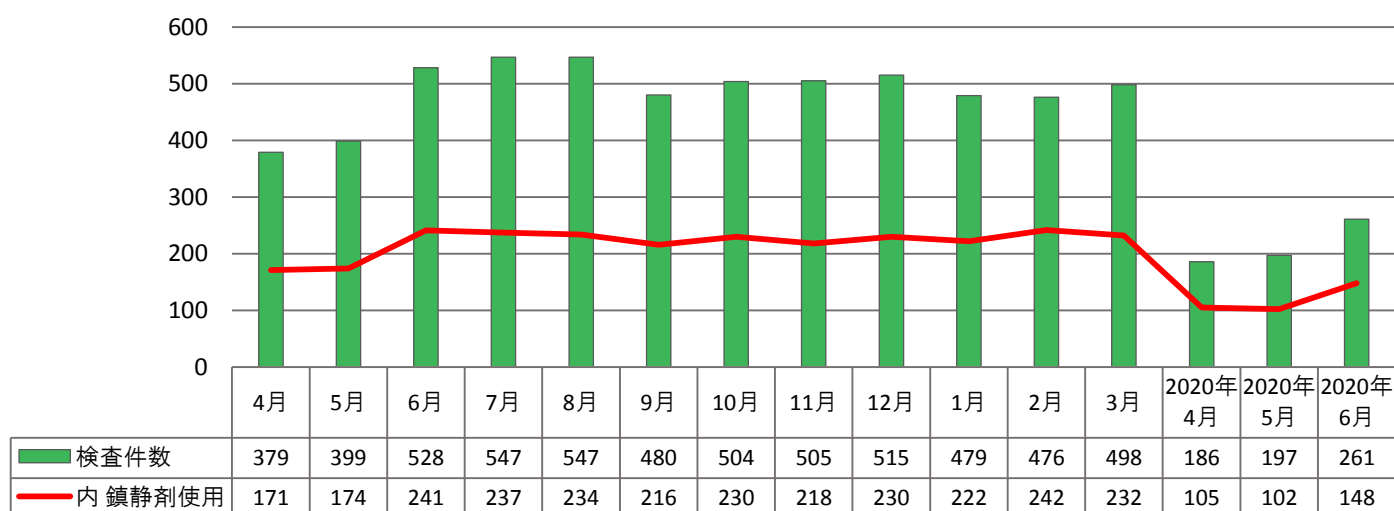
当院の内視鏡検査はセデーションを希望する方が多いことから看護師・検査技師・クラークを配置し安全を第一に考えての検査を実施しております。また大腸検査については、これまでも在宅洗腸率の向上を心がけておりましたが、最近のコロナ渦の影響もあり、在院での前処置を希望する方も少なくなり、在宅洗腸率を増加しております。

回復室は専従看護師を配置、9ベッドを有し、ベッドにはモニターを設置して十分な体制の下、内視鏡セデーション患者管理や日帰り手術患者管理を行っております。



新型コロナの影響による学会からの内視鏡自粛の通達で、2020年4月、5月の件数は、上部、下部ともに減少しました。

◆ 2019年度 上部内視鏡検査実績（2019年4月～2020年6月）



◆ 2019年度 下部内視鏡検査実績（2019年4月～2020年6月）





● 日帰り手術センター

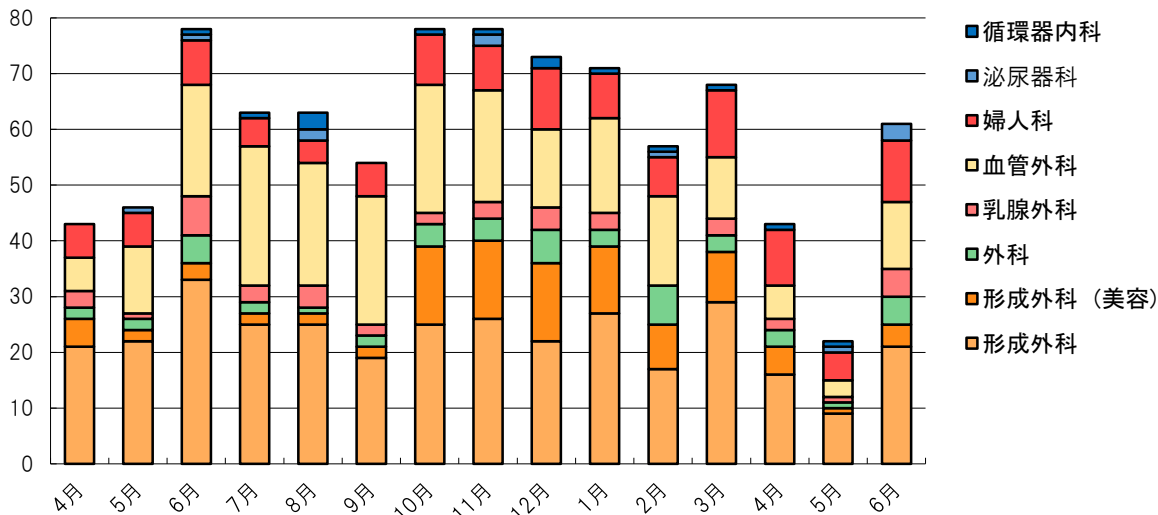
2016年4月より開始した日帰り手術は、総件数2,540件を超え、全身麻酔も含めた手術の実施、また術式も増えてきています。日帰り手術コーディネーターを配置した体制は、安心かつ安全な手術の遂行にもつながり、患者さんに不安なく手術を受けて頂けるよう心掛けています。

生活様式が多様化している現代、日常生活を中断せずその延長線で手術を受けられる日帰り手術は、大きなメリットを含んでいます。術前面談、術中看護、術後指導、翌日電話訪問までコーディネーター看護師が一貫し患者に寄り添った看護を提供しています。

コロナ渦の影響で日帰り手術施行を自粛したことから、2020年4月、5月の手術件数は減少しております。

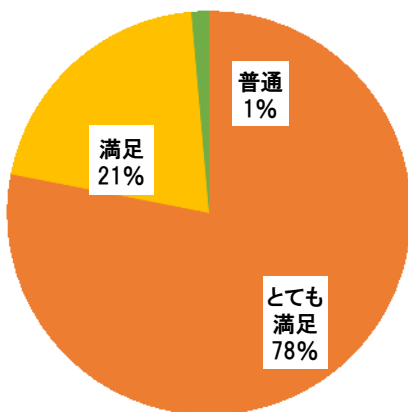
◆ 手術件数(科別) (2019年4月～2020年6月)

2019年度 総手術件数772件

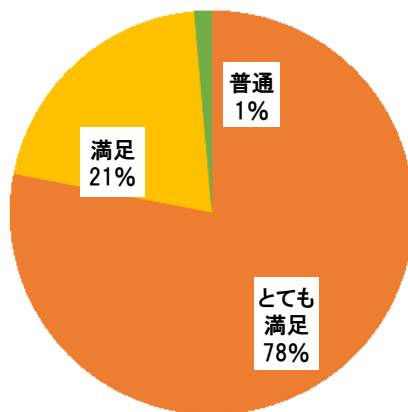


◆ 2019年度満足度調査結果

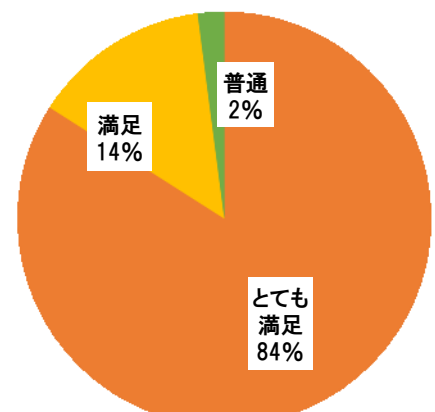
スタッフの態度・対応



スタッフの説明



総合評価

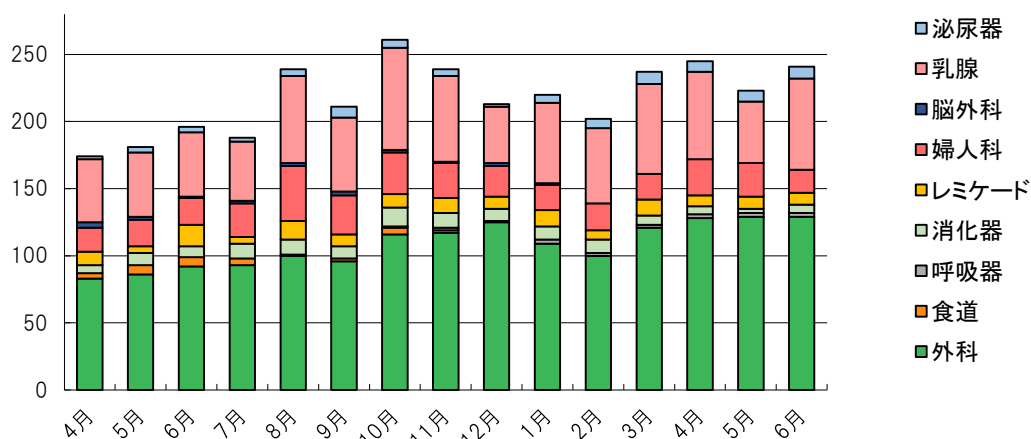


● 認定看護師による外来および特殊外来

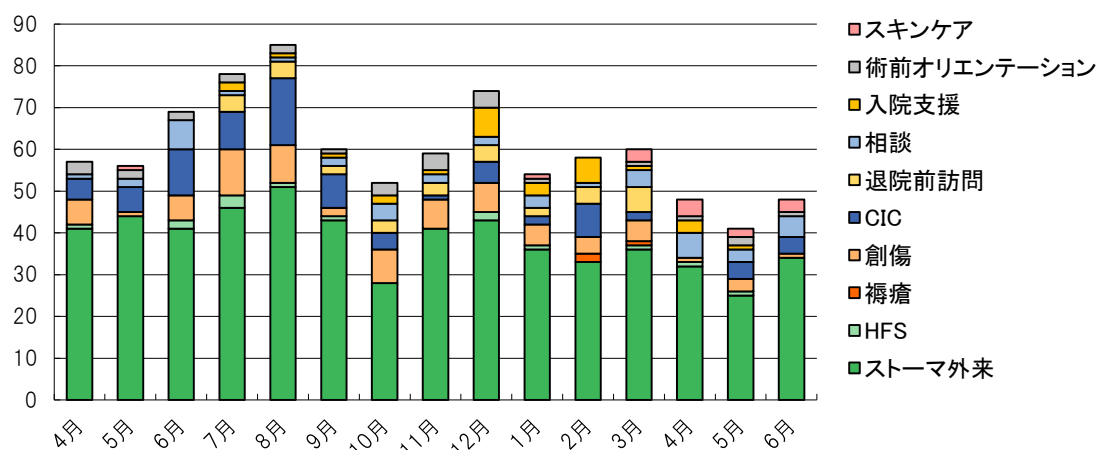
当院では患者さんの病態に応じて認定看護師による外来や特殊外来を設置しております。日帰りがん化学療法ではがん化学療法認定看護師の管理下に化学療法を実施。実施に当たってはすべての患者さんに対してがんサポートチームによるインテーク外来を実施しております。ストーマ管理に関しては皮膚・排泄ケア認定看護師を配し、ともしればメンタル面でも対応しなければならないストーマ保持者に対する診療を専用外来にて行いプライバシーにも配慮しております。乳腺外来では乳がん看護認定看護師による乳腺治療にかかわる全般的なケアを行っております。特にリンパ浮腫外来では術後の患者ケアに対してのサポートも行っております。またがん性疼痛や原因不明の疼痛に悩む方々のために痛み外来を設置。現代社会における各種ストレス等により多くなりつつある未病や、がん患者の不定愁訴等に対応するため漢方外来も設置しております。



◆ 科別化学療法室利用状況 (2019年4月～2020年6月)



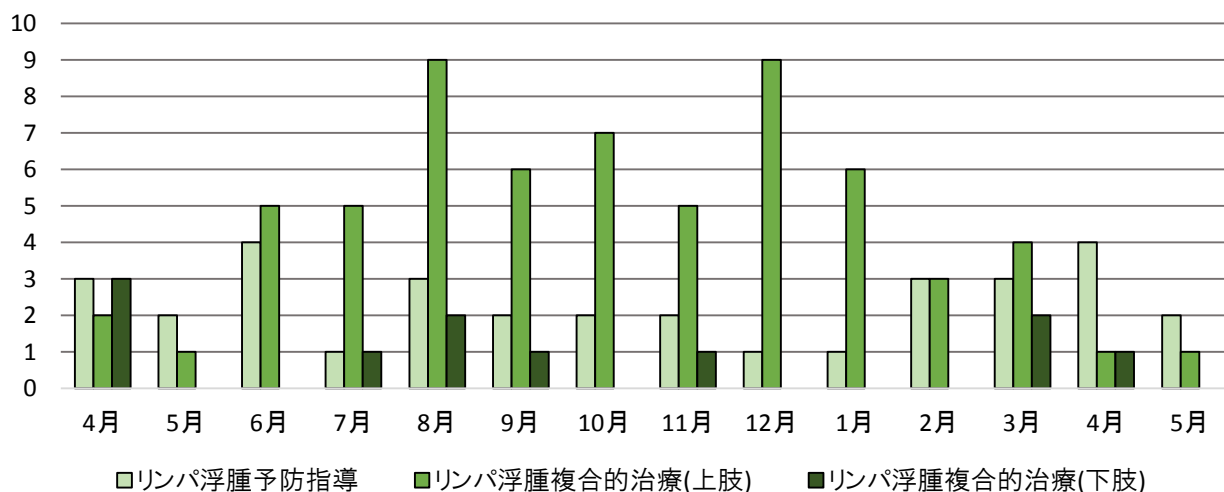
◆ 皮膚・排泄ケア認定看護師活動状況 (2019年4月～2020年6月)



◆ 乳がん看護認定看護師活動状況 (2019年4月～2020年5月)

リンパ浮腫は、乳がん手術で腋窩リンパ節郭清を、子宮がん・卵巣がんで手術骨盤内リンパ節郭清した場合や、抗がん剤治療、放射線治療の後遺症として発症します。2019年3月にリンパ浮腫看護外来を、さらに乳腺看護外来を立ち上げて、川崎幸病院リハビリテーション科と協働して、入院中、退院後にリンパ浮腫予防指導ができるような体制を整えてきました。

リンパ浮腫は完治が難しく、クリニックでは継続的に支援していく事で早期発見に努めています。月1回の合同カンファレンスで事例検討会、並びに業務ミーティングを行い患者が主体的にセルフケアに取り組めるようにしています。また、リンパ浮腫を発症している方を対象に複合的治療(圧迫・リンパドレナージ等)を実施し、セルフケアができるように支援しています。2名のリンパ浮腫セラピストが協働で予防から、発症した方への対応をしています。





これまでの展開

● がん患者サポート体制

がんサロン(さいわいクローバーの会)

当院では、石心会川崎地区の医療機関に通院・入院しているがん患者と家族を対象に、がんサロンを毎奇数月に実施しています。

がんサロンでは、がん患者とその家族が、自らの体験を語り合うことで、孤立感が和らぎ希望が持てたり、社会の中で生きているという実感が取り戻せたり、気持ちが整理できるといった効果が期待できます。参加者からは「話をすることで、気持ちがすっきりした。」「心強く思った。」などの感想をいただいています。また、サロンの中では専門職からの講演会を行い、がんについての正しい知識を身につけていただく機会を設けています。

2019年度

がんサロン「さいわいクローバーの会」講演内容

- 5月：社会保障制度、活用できていますか？
～がん患者さんが利用できる制度～
- 7月：がん治療とお口の問題
- 9月：手術したあとにおこるむくみ ～リンパ浮腫～
- 11月：処方薬と市販薬について
～抗がん剤治療中の注意点～
- 1月：がん治療中の食事 ～困ったときのヒント～



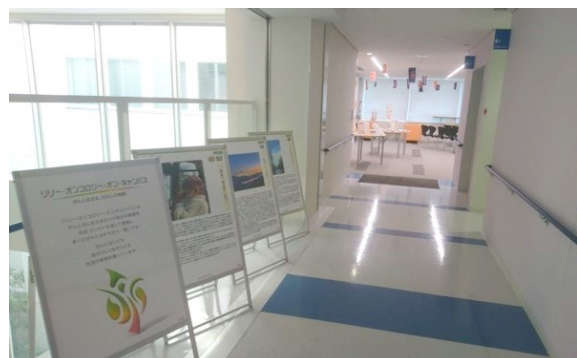
グリーフケア活動

2016年度から、がんサポートセンターで支援していた方のご遺族に対し、お悔やみの手紙の送付を行っております。これまでに55名の方にお手紙を送付しました。「主人を覚えていてくださったことが、とてもうれしく手紙を仏前に添え伝えました。」「夫の分も残りの人生を楽しみたいと思います。時間が必要かと思いますが、気負わず頑張ります。」など、お返事をくださる方もいました。

2018年度から新たな試みとして、遺族会「さいわい向日葵の会」開催をしました。2019年度は、新型コロナウイルス感染対策の影響で開催は中止となりましたが、今後も継続開催できるよう協議中です。

かわさき幸がんウィーク

5回目となった「かわさき幸がんウィーク」は2020年2月3日より5日間開催。今回は院内での展示やがんに関する講義、相談などを中心に開催しました。





院内活動

● 大規模災害への備え

第3回目となる幸区・川崎区合同医療訓練(2019年10月開催)に当院も参加。38名のスタッフが参加し来るべき大震災に備え訓練を行いました。



● キッズセミナー

第2回目となる「かわさき幸キッズメディカルセミナー」を2019年8月3日に開催しました。小学生低学年28名が参加。手術室の見学や超音波凝固切開装置の模擬体験や超音波検査、薬剤調合など医療の現場体験を行いました。



● 院内行事

2019年夏には開院記念日の祝賀を兼ね、屋上で納涼会を開催。また年末には恒例のYear End Partyを開催し、スタッフの一年の労をねぎらいました。





教育

当院では、「和顔愛語、先意承門」のマインドと、高い知識を学ぼうという風土を育むことを目的とした人材教育を行っております。職員一人ひとりが現場主義に基づいた患者対応が出来ることを目的とし種々の企画を行っております。

教育

● Morning English Mini-lecture

International clinic として、来院する外国の方々へスムーズな診療を提供するため週に一度朝礼にて開催しています。



● プラチナ塾

2019年10月より、朝礼で週に一度、常勤のベテラン医師によるプラチナ塾を開催。先生方の豊富な経験や趣味のお話しなど、若いスタッフには毎回新鮮で刺激となる話ばかりでした。



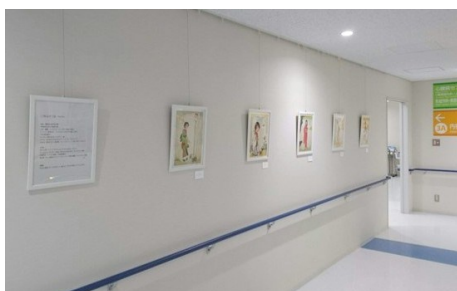
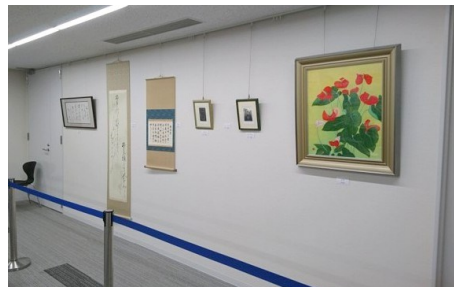
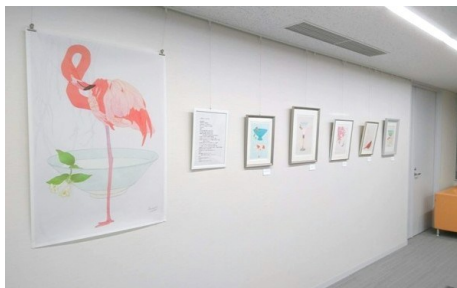
開催日	卓話者	タイトル/内容
2019/8/7	古谷 医師	山登りの楽しみとリスク
2019/8/8	安江 医師	下町散歩橋本佐内南千住
2019/8/15	森山 医師	ピンポン外交と卓球
2019/8/22	渡邊 医師	ホモサピエンスの成り立ちと歴史、認識力革命
2019/8/29	長江 医師	JAZZの歴史とサックス
2019/9/4	森山 医師	ベルリン〜いろいろ(壁、フィル、オリンピック、パフィーまで)
2019/9/11	古谷 医師	ピクトグラムの変遷
2019/9/12	安江 医師	アイルランド紀行〜学会に参加して〜
2019/9/18	長江 医師	音楽の歴史の旅
2019/9/27	渡邊 医師	続ホモサピエンス 認識力の獲得と革命 デカルトなど
2019/10/2	古谷 医師	リボンにまつわるお話し
2019/10/10	安江 医師	千住 松尾芭蕉
2019/10/16	渡邊 医師	認識力 ホモサピエンス続
2019/10/23	長江 医師	ウルトラマラソン
2019/10/30	関川 院長	ターヘルアナム
2019/11/6	古谷 医師	多摩川と水害・ハザードマップ
2019/11/13	森山 医師	東京オリンピック その記憶と記録
2019/11/20	長江 医師	ロス留学と黒人差別そして暴動、ロス震災など
2019/12/4	古谷 医師	スキーの歴史と今
2019/12/11	森山 医師	オペラの話
2019/12/12	安江 医師	腑分けと回向院、町巡り
2019/12/19	長江 医師	瀬戸市について
2020/1/8	古谷 医師	マスギャザリングと感染
2020/1/9	安江 医師	正月ニュージーランドの旅
2020/1/15	森山 医師	70歳そして年齢について
2020/1/22	渡邊 医師	小倉百人一首
2020/1/29	長江 医師	スキーは楽し。大滑降のゲレンデ作り 白馬八方尾根スキー場など
2020/2/5	古谷 医師	硫黄島めぐり 戦争の悲惨についてのメッセージ
2020/2/13	安江 医師	樋口一葉めぐり





● オープンギャラリー

クリニック自体が病に悩む方々の癒しの空間になればとの思いで様々な作家の展示によるオープンギャラリーを開催しております。展示中は患者やその家族、そして私たち職員にとっても心が和むと好評を得ております。



2019年度に開催したオープンギャラリー

- 第12回 川崎幸ロータリー展
9月9日～10月4日
- 第13回 川崎市立高等学校 書道部作品展
10月7日～30日
- 第14回 先斗ポン太、浅見ハナ2人展
11月5日～12月6日

● ボランティア活動

* 図書ボランティア ～移動図書ワゴンサービス～

2019年 10月28日(月)～11月 1日(金)、読書週間にちなみ企画した《移動図書ワゴンサービス》を行いました。

合計51冊、一日に平均10冊程度利用され、「いつでも利用できたらいい。」「私の勤務先の病院でも参考にしたい」などが聞かれ好評でした。





和顔愛語 先意承問

わげんあいご せんいじょうもん

和 顔 愛 語 にこやかな顔、優しい言葉

先 意 承 問 相手の気持ちを先んじて察し、その思いに応えること

仏説無量寿経 注釈版聖典P26より

外来診療の心得

外来診療では多様な背景に加え多様な訴え、
悩みそして不安を抱えてくる方々が多く来院する。

～医療者の取るべき対応は～

人の心を察する能力を常に高めながら
あらゆるシーンで相対していかねばならない。
すなわち人間性・社会性・洞察性をより高めていかねばならない。

健診から高度専門治療、退院後の生活支援、
ご病気のご相談まで、
シームレスな診療を目指します

社会医療法人財団 石心会
第二川崎幸クリニック

外来診療
(外科系診療科)



外科系および消化器系専門診療科
化学療法外来を中心とした癌サポート体制

社会医療法人財団 石心会
川崎幸クリニック

外来診療
(内科系診療科)



内科系専門診療科
訪問診療、リハビリテーション

社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院

救急・入院・オープン検査



緊急治療
が必要

精密検査
(オープン検査)

緊急性がない場合



社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院

☎ 044-544-4611(代)

(24時間対応)

専門外来を受診

外科・消化器系診療科: 社会医療法人財団 石心会 **第二川崎幸クリニック**

内科系診療科:

社会医療法人財団 石心会 **川崎幸クリニック**

受診予約センター

☎ 044-511-2112

第二川崎幸クリニック、川崎幸クリニック共通

入院治療が必要な場合は、
川崎幸病院にご入院いた
できます。